

Spring Concert

The. 饗宴

シューベルト 五重奏曲
「鱒」イ長調 D.667



奏者5人によるソロ演奏もお楽しみ下さい



PIANO
ピアノ
林 紋子



VIOLIN
ヴァイオリン
山中 恵理子



VIOLA
ヴィオラ
猿渡 友美恵 (九州交響楽団員)



CELLO
チェロ
重松 恵子 (九州交響楽団員)



CONTRABASS
コントラバス
深澤 功 (九州交響楽団首席)

2014. **4.27** .SUN 開場時間 13:15 プレトーク 13:45 開演 14:00
コスメイト行橋文化ホール 福岡県行橋市中央1-9-3

■チケット / 全席自由 *学生 2,000円 *一般 3,000円 (当日 500円増)

■お問合せ / TEL 0930-42-0070 (山中恵理子コンサート実行委員会) TEL 0930-25-2300 (コスメイト行橋文化ホール)

■主催 / 山中恵理子コンサート実行委員会

■後援 / みやこ町、みやこ町教育委員会、行橋市、行橋市教育委員会、行橋音楽協会、
NPO法人豊津小笠原協会、NPO法人みやこ未来活性化協会、NPO法人京都ドリーム21

※母子室・車椅子ご利用の方は事前にご連絡ください。※録音・録画、写真撮影等はお断り致します。

プロフィール



Piano 林 紋子

福岡県福岡市出身。三歳よりヤマハ音楽教室でピアノと作曲を学ぶ。国内外でのJOCジュニアオリジナルコンサート、TV番組等に多数出演。第48回 全日本学生音楽コンクール、九州大会、中学校の部第1位。第3回 鳥栖ピアノコンクール、高校の部第1位、および総合でグランプリ。第19回 T I A A全日本クラシック音楽オーディション、最優秀賞。第49回 西日本出身新人紹介演奏会、審査員奨励賞(ピアノ部門最高位)。第6回 大阪国際音楽コンクール、デュオ・アンサンブル部門、エスポアール賞。第151回 日演連推薦新人演奏会にて、九州交響楽団とピアノコンチェルト共演。第51回 北九州音楽祭クラシックコンサートにて、優秀伴奏者賞を受賞。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科を経て、同大学研究生修了。在学中には、卒業演奏会、Student's Concert等に選抜され出演。これまでに、田中 美江、徳丸 聡子、ミハイル・ボスクレセンスキー各氏に師事。現在、後進の指導を行う傍ら、リサイタルを行う等、ソロ、伴奏、室内楽等で活動中。



Violin 山中 恵理子

3歳より才能教育研究会スズキ・メソッドでヴァイオリンを始める。私立梅光女学院高等学校音楽科、くらしき作陽大学音楽学部モスクワ音楽院特別演奏コースを卒業。それまでに、京都国際音楽フェスティバルに日本選抜学生として参加、北九州芸術祭出演、岡山交響楽団と共演他、ソリスト、室内楽奏者としても活動する。2006年に渡露。チャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院研究科に2年在籍した後、大学院に進み2011年に修士号を得る。2011年秋に帰国するまでに、モスクワを中心にモスクワ音楽院選抜生によるコンサート、ロシアの春国際音楽祭、クリン芸術祭を始めとする音楽祭、美術館、博物館などでの演奏会に多数出演する他、3年連続でモスクワ音楽院にてソロリサイタルを開催。帰国後2012年に始まった《季節に音を聴く》リサイタルシリーズは、全8公演ともに盛況となり、その模様は、NHK《こんばんは北九州》において『若き女性バイオリニスト将来の夢と思い』として取り上げられる。これまでに、ヴァイオリンを三木妙子、アナスタシア・チェボタリョーヴァ、ナデージュダ・トカレヴァ、エドワード・グラッチ、アレクセイ・カシュヴァネツ、室内楽をアンドレイ・ジェルタノグ、ヴァレリー・ゲラシモフ、アレクサンドル・メルニコフ、ウラジーミル・スカナビの各氏に師事。現在は福岡を拠点に後進の指導を行う傍ら、ソロと室内楽を中心に、オーケストラ客演等の演奏で活動中。



Viola 猿渡 友美恵 (九州交響楽団員)

4歳よりヴァイオリンを始める。ヴァイオリンを太期晴子氏に師事。愛知県立芸術大学を経て、東京藝術大学大学院修士課程を修了。日本演奏家コンクール、JILA音楽コンクールにて入賞。日本アンサンブルコンクール、pfとのデュオで池田賞受賞。第157回日本演奏連盟推薦新人演奏会にて九州交響楽団と共演。ヴィオラを百武由紀、菅沼準二、クロード・ルロン、川崎和憲の各氏に師事。室内楽を天野武子、松原勝也、コンラート・リヒターの各氏に師事。2006年8月より九州交響楽団ヴィオラ奏者。



Cello 重松 恵子 (九州交響楽団員)

東京芸術大学卒業、及び同大学大学院修士課程修了。在学中、日演連推薦新人演奏会に出演し、九州交響楽団と共演。学内モーニングコンサートに出演し、芸大フィルハーモニアと共演。ファドゥーツ、ウィーン、ザルツブルグ、霧島にて夏期講習会、京都フランスアカデミー、福岡古楽音楽祭の公開セミナーを受ける。これまでにチェロを、故 井上頼豊、河野文昭、菊地知也の各氏に師事。室内楽を、木越洋、北本秀樹、松原勝也、植田克己の各氏に師事。2010年より九州交響楽団員。



Contrabass 深澤 功 (九州交響楽団首席)

1984年国立音楽大学卒業。これまでに、松野茂、中博昭、小野崎充、D.マクティアの各氏に師事。'86年九州交響楽団首席コントラバス奏者に就任、現在に至る。'89年アフィニス文化財団海外研修生としてロンドンに留学。帰国後、オーケストラでの演奏活動と共に、'95年'97年、2001年には、アメリカの国際コントラバス協会主催によるコンベンション、'98年スコットランドのダブルベース・フェスティバルでのリサイタルをはじめ東京、福岡などでのリサイタルやソリストとしてオーケストラとも協演、また倉敷、宮崎、北九州、'99年のフィンランドのクフモ音楽祭からの招待を受け多くの演奏家たちと共演、ソロ・室内楽共に活発な活動を展開し、高い評価を得ている。近年は『サイトウキネン・オーケストラ』への出演も多く、またジャズ・ピアニスト岩崎大輔とのデュオ・ユニット「スープ・ストック」のライブ活動も盛んに行っている。現在、九州交響楽団首席コントラバス奏者、平成音楽大学講師、福岡女子短期大学音楽科講師として後進の指導にあたるほか1996年に九州ベースクラブを創設、以来代表幹事を務める。2006年～2007年にはコントラバスのためのオリジナル作品ばかりを集めた自らの企画で九響在団20周年記念リサイタルを福岡と東京で行い好評を得ている。CD「フェイバリッツ・オン・ベース」「Pilgrim」「music music!」「Home coming」の4枚に続いて2011年12月にマイスター・ミュージックから「Romanza Patetica」を全国発売。主な使用楽器は1730年製ニコラ・ガリアーノ。